

# 真に支援を必要とする人々のための施策

暮らしを守る  
福祉等の向上

## 特別養護老人ホームの新設及び大規模修繕への助成 ( 5億6,700万円)

- 必要性・緊急性の高い方が引き続き概ね1年以内に入所できるよう計画的に整備
- 老朽化が進む施設の維持・長寿命化を図るため、大規模修繕費用の一部を助成

## 弘済院の認知症医療・介護機能を継承・発展させる新施設 ( 263億6,700万円) (大阪健康長寿医科学センター)の整備

- 大阪公立大学のもとで先進的な認知症研究に取り組み、認知症医療・介護の推進拠点となる新施設を整備するため、住吉市民病院跡地において建設工事等を実施(令和9年5月開設予定)

## 長居障がい者スポーツセンター建替整備 ( 2,600万円)

- 障がい者スポーツ振興の中核的な拠点施設として機能強化を図るため、PFI方式により新たな施設を整備

## 医療的ケア児等支援強化事業 ( 1億1,600万円)

- 家族の負担軽減を図るため、自宅等で一時的に医療的ケアや見守りを行うレスパイト支援を実施
- 日常生活全般における電源確保のため、在宅等で利用する人工呼吸器に係る発電機等の購入を支援

## 障がい福祉サービス等に係る質の確保・向上に関する検討調査 ( 5,000万円)

- 障がい福祉サービス等に係る質の確保・向上のためのアクションプランの策定に向けた取組を実施

# すこやかでこころ豊かに暮らすための施策

暮らしを守る  
福祉等の向上

拡

介護予防の更なる推進 “すかい”プロジェクト ( 5億6,200万円)

～すこやかにかいご予防でいい人生～ (うち、一般会計: 2億7,700万円)

- 介護予防活動への参加を促進するために、「これまで介護予防にあまり関心がなかった人」等に対して、介護予防を「知る」「始めてみる」「楽しむ」「広げる」の4つの柱を基に更なる取組を推進



新

働く世代の健康づくり支援事業 ( 4,300万円)

- 働く世代の健康増進の環境づくりとして中小企業への健康経営導入を支援するとともに、働く世代の健康づくりを支える関係団体との連携を強化



拡

歯周病検診の無償化 ( 2,000万円)

- 市民の健康増進と健康寿命の延伸を図るため、自己負担金を無償化

拡

依存症対策支援事業 ( 2億8,900万円)

- 大阪府と共同で設置する「(仮称)大阪依存症対策センター」の開設に向けて、基本計画の作成に取り組むとともに、高度専門人材の確保及び養成等、機能の具体化のための取組を推進
- 若年層を対象とした予防啓発、相談支援体制を充実

保健所庁舎整備事業 ( 17億 500万円)

- 将来の大規模感染症発生時も想定し、一元的な対応を効果的かつ機動的に行うことができる保健所施設として、もとヴィアーレ大阪を改修(令和8年度運用開始予定)

# 多文化共生社会の実現

暮らしを守る  
福祉等の向上

## 外国につながる児童生徒の受け入れ・共生のための教育推進事業 ( 6 億 4,100 万円)

- 市内4つの共生支援拠点において、日本語指導及び母語・母文化の保障の取組、多文化共生教育の取組を支援
- **拡** プレクラスにおける教室の増設及びコーディネーター増員、民間事業者を活用するなど、支援を充実



## 外国につながる児童生徒の保護者を対象とした日本語学習支援事業 ( 900 万円)

- 外国につながる児童生徒が学校生活で困難を抱えることがないよう、その保護者を対象とした学校文化の理解につながる日本語学習プログラムを開発し、日本語教室を実施

## 学校図書館の機能を活用した外国につながる児童生徒への支援事業 ( 2,800 万円)

- 図書・情報を取り扱う専門家として、多文化共生支援担当の学校司書をモデル校(8校)に配置し、教員と連携して外国につながる児童生徒への支援を充実

## 児童福祉施設等における外国につながる児童及び保護者への通訳支援事業

- 外国につながる児童や保護者と、より正確なコミュニケーションを図るため、多言語リモート通訳システムを導入し、安全・安心な教育・保育の環境を整備 ( 1 億 7,700 万円)

## 外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業 ( 1,200 万円)